

中小企業景況調査

(令和5年10月～12月期)

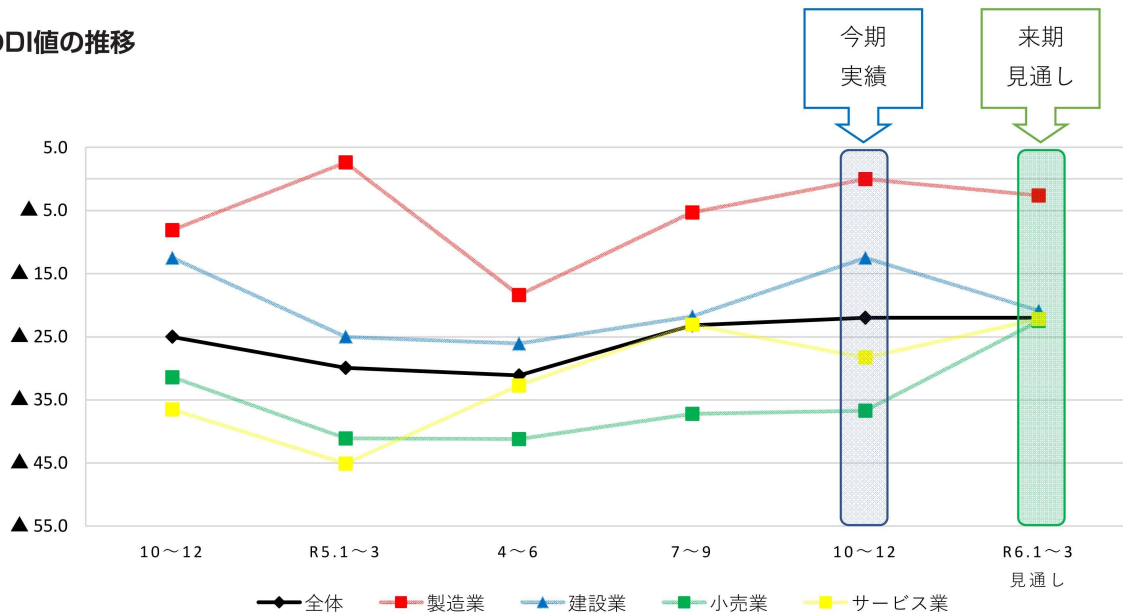
対象企業数：県内13商工会地区165企業

回答企業数：164企業（回答率99.4%）

●業界全体の業況

業界全体の業況については、前期（令和5年7～9月期）▲23.2に比べ今期は▲22.0とゆるやかながら改善傾向がみられます。来期（令和6年1～3月期）は▲22.0となり、先行きの見通しは不透明で足踏み状態が続くと考えられます。

●業況のDI値の推移



●景気動向天気図（前年同期比）

業種	売上額	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
全体	▲10.3	57.7	▲34.8	▲18.5	▲2.1	▲22.0
製造業	0.0	68.6	▲18.4	▲10.5	14.7	0.0
建設業	0.0	79.2	▲33.4	▲16.7	23.8	▲12.5
小売業	▲30.6	67.3	▲46.9	▲37.5	▲2.6	▲36.7
サービス業	▲15.1	77.3	▲50.9	▲16.0	▲9.1	▲28.3

●業種別の業況・経営上の問題点

製造業	業況：今期はやや改善し、来期はやや悪化する見通し
経営上の問題点	第1位：原材料価格の上昇 第2位：生産設備の不足・老朽化 第3位：需要の停滞
建設業	業況：今期はやや改善し、来期はやや悪化する見通し
経営上の問題点	第1位：材料価格の上昇 第2位：熟練技術者の確保難 第3位：従業員の確保難
小売業	業況：今期はやや改善し、来期も改善する見通し
経営上の問題点	第1位：仕入単価の上昇 第2位：消費者ニーズの変化への対応 第3位：需要の停滞
サービス業	業況：今期はやや悪化し、来期はやや改善する見通し
経営上の問題点	第1位：材料等仕入単価の上昇 第2位：店舗施設の狭隘・老朽化 第3位：利用料金の低下、上昇難

景気動向 天気図の見方

DI値	100～15.1	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～-100
天気図					
傾向	好転	やや好転	やや悪化	悪化	大幅に悪化

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。

※ DI 値（ディフュージョン・インデックス、景気動向指数）

増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いた値を示すもの。